

新潟県女性センター情報 No.61

2007. 5. 18発行

平成19年度事業案内

今までの事業を見直し、事業の廃止や集約を行いました。また、今年度から、人材育成プログラムや企業へのアプローチなど、これからの基幹事業となる企画の立案及び運営に対する助言を得るため、事業コーディネーターを委嘱することとしました。その他、年度当初にアンケート等の調査を行い、事業に反映させたいと考えています。ご協力お願い申し上げます。

基本方針

1. 市町村や民間団体のネットワーク化支援と交流促進

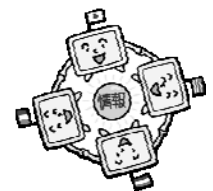
女性団体等の自主的、実践的な活動を支援するとともに、交流の場を提供し、ネットワーク化を図る。また、前年度に引き続き県内の女性関連施設の交流事業を実施し、拠点施設間の連携の充実を図る。

2. 専門性の向上を目指した人材育成事業の充実

人材育成事業のプログラム開発等を行い、今後の財団の基幹事業を構築する。

3. 情報発信の充実

情報発信の充実として、ホームページのポータルサイト化を進めるとともに専門的、実践的な情報を発信する啓発誌を発行する。また、キャリア形成支援のための情報を収集し、女性や企業に対するカウンセリング機能の構築に繋げる。



●交流事業

1) 女性関連施設交流会

県内女性関連施設の職員等の情報交換とネットワーク化の支援

2) にいがた男女共同参画ウィーク支援事業

「にいがた男女共同参画ウィーク」期間中、アルザにいがたと新潟ユニゾンプラザで行われるイベントの支援と交流

3) 講座企画力養成事業（新規事業）

委託先や協働する団体（市町村を含む）の構成員を対象に、講座の企画運営と男女共同参画の視点の発信についての研修と交流

4) 住民団体交流会

協働事業を実施した団体からの事業成果の報告と情報交換

●研修事業

1) 人材育成事業のプログラム開発（新規事業）

男女共同参画の視点をもって、意思決定の場に参画できる女性の育成プログラムの開発と施行

2) 協働コーディネーター養成事業（新規事業）

地域リーダー等を対象にしたスキルアップ講座

3) 地域セミナー

団体や市町村と協働で男女共同参画の啓発や喫緊の課題をテーマに県内各地で講座を実施

4) 保育ヘルパーグループ研修

保育ヘルパーグループのスキル向上のための研修



●情報事業

- 1) Webサイトのリニューアル（新規事業）
財団の使命を踏まえた有益な情報を発信するサイトにリニューアル
- 2) 啓発誌の発行
既存の情報誌のほか、多様な形の情報発信を実施
- 3) キャリア形成支援情報提供（新規事業）
キャリア形成支援のための情報収集

●自主事業

- 1) 定期講演会開催事業（新規事業）
県内中核都市で現代的課題をテーマにした講演会の定期開催、市町村イベントの共催事業開催
- 2) 調査・研究事業
企業ニーズの調査とアプローチ方法の研究開発

ワークショップ募集

新潟県女性財団では、新潟市と共催で11月23日（金・祝）～12月1日（土）までの9日間を「にいがた男女共同参画ウィーク」として、期間中に男女平等・男女共同参画をすすめるための様々なイベントを開催します。このウィークを県民皆様からも盛り上げていただくため、期間中、自主企画・運営によるワークショップを募集します。詳細はホームページでご覧いただけます。申込書もホームページから取得できます。

【会 期】11月23日（金・祝）～12月1日（土） 【会 場】①アルザにいがた ②新潟ユニソンプラザ
【助成金】ワークショップ 1団体につき上限2万円 【申込締切】6月29日（金）必着

講座レポート1

「半径3メートルから脱出～あなたの不安がプラスにかわる～」と題し、1月27日～3月4日の日程で全4回、新潟県女性センターで様々な講師を招き、講座を開催しました。担当者からのレポートです。

「女は若くなくてはダメなの？」「女性の雇用状況はどうなってるの？」「この孤立感は何？」このような女性が抱える不安・不満はどこからくるのかを知ることで、今までとらわれていた価値観から脱出し、自分自身の価値観を手に入れるきっかけとなればと企画した講座でした。初回の鈴木由加里さん（「女は見た目が10割」著者）の講演は「美しさを限定されるということが、女性の生き方を限定することにもつながってくるのでは」そして「刷り込まれた価値観を見つめ直し、自分はもちろん他人も限定しないでそれぞれの価値観で生きていく」ことが可能になれば、あらゆる生き方の女性に寛容である社会になる。そのためにどのような考え方をするとよいかをお話ししてくださいました。2回目は野口やよいさん（「年収1/2時代の再就職」著者）で「年収1/2時代を生き抜けますか？」をテーマにこれから私たちができることとして、この雇用状況のピンチをチャンスとすること。例えば非正社員の労働条件を向上させる。ここから「仕事人間からプライベートも仕事も楽しむ男性へ」「家庭人間からプライベートも仕事も楽しむ女性へ」と変化していけるのではと提案がありました。3回目は尾辻かな子さん「カミングアウト～自分らしさを見つける旅～」著者が自分らしく生きていくためにはどうすればいいのか。またそれを認められる社会はどうあればいいのかをセクシャルマイノリティの当事者である尾辻さんが伝えてくださいました。自己受容そして周りの人に目と気持ちをむけることの大切さに気づいたと参加者アンケートにも多くありました。最終回はプレイバックーズ。参加者の中から選ばれた4人のお話を即興劇で見せてもらいました。語られたことは結婚、子育て、自己実現とそれぞれ個人的なことであっても、その気持ちを揺さぶるものにジェンダーバイアスが大きく影響しているを感じることができ、他の人たちも自分自身のことと重ね合わせて見ることで見ることができたようです。

講座終了後に、講師と参加を希望される方での茶話会も開きました。感想を述べ合うことで同じ時間に話を聴いても捉え方は人それぞれだと気づきます。そしてその違いでそれぞれを否定することなく、共有することが新たな繋がりを生み出すことになるのではと感じました。参加者の皆さんにとってこの講座が、今の自分の気持ちを見つめて、これからの選択や社会への希望を考えるきっかけとなったならば嬉しく思います。

【報告者／前新潟県女性財団企画運営委員 山田裕子】

講座レポート2

新潟県女性財団では、隔年で「賛助会員の集い」を開催しています。3月に行われた集いについて企画運営委員として企画からかかわった小熊さん（現・新潟県女性財団専門員）から報告してもらいました。今後も賛助会費を納めてくださっている会員皆様の意向に沿った集いができるよう頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

新潟県女性財団の運営は賛助会員の方々の支援に支えられています。平成17年度末現在で、個人会員318人、団体会員74団体、法人会員21社が賛助会員として入会して下さっています。昨年度賛助会員を対象にアンケートを行いました。その結果から、団体交流事業にもっと力を入れるべきだとの回答が1番多く、研修とあわせて期待されていることがわかりました。

3月10日に行われた「賛助会員の集い」は現在賛助会員の方とこれから入会しようとの思いをもったださっている方も含めて、研修と交流の機会にしたいと企画しました。「賛助会員の集い」は2年前に初めて開催し今回で2回目になります。女性団体交流室2を会場に、30人の参加がありました。

まず、大島理事長から日ごろのご支援に対するお礼と財団の事業紹介をしました。2007年度は事業コーディネーターをむかえ、交流・情報・研修を3本柱に事業を進めていくと新しい取組について説明がありました。その後、「地域リーダーカ～女性リーダーの育ち方～」のテーマで、ライフキャリアデザイン・アソシエイツの川端美智子さんから講義とグループワークを進行していただきました。男女共同参画社会の実現をめざして、男女共同参画の視点を持ったリーダーが求められていること。リーダーにはファシリテーション、コミュニケーションのスキルが必要であると話されました。WIN-WIN、双方が納得する関係をめざして、意思・やりたいこと（will）を持っている。グループの目標を達成するために、メンバーのできることをできないことのコーディネートもリーダーの大切なスキルであることがわかりました。

グループワークでは企画運営委員がファシリテーターになり、ワークを進めました。グループを宿に見立ててファシリテーターが宿のオーナーになり、お客さまを迎える気持ちでファシリテートしてきます。テーマは「リーダーシップを発揮してグループの活動がうまくいっている時、うまくいっていること」です。1ラウンドはグループで話し合い、2ラウンドにメンバーがそれぞれ別のグループで話し合ってきます。そして、3ラウンドで最初のグループに戻り話を広げていきます。ワールドカフェ方式という方法で短時間でしたが、仲間意識づくりにつながりました。メンバーが思いを確認しながらモチベーションを保つこと、活動するために資金は補助金などを活用するなど実践に基づいたヒントが多くありました。



川端さんは、2007年度からの事業コーディネーターとして、女性財団に関わってくださいます。「お土産は自分で創り出す」とのメッセージを参加して下さった方々がどのように捉えて、どんなお土産を手に地域へ帰られたのか、今後の活動がワクワク楽しみな集いでした。

【報告者／前新潟県女性財団企画運営委員 小熊洋子】

詳細についてはそれぞれの「問合せ先」へお電話ください。

県内の情報

北京JAC・新潟 公開学習会 「県条例を読み解く～条例見直しに向けて～」

と き：2007年6月3日（日） 13:30～15:30
と ころ：新潟県女性センター 女性団体交流室2
（新潟ユニゾンプラザ2階）

★講師 金井淑子
横浜国立大学教授、「新潟県男女平等社会の形成の促進に関する条例」策定の際の女性問題協議会会長

【問合せ先】北京JAC・新潟
TEL&FAX 025-245-3063（小林）

第6回日本フェミニストカウンセリング学会 長岡大会

と き：2007年5月26日（土）～27日（日）
と ころ：長岡グランドホテル、長岡商工会議所

- ★パネルディスカッション／26日 13:00～16:30
「“家族神話”とファミリーバイオレンス」
- ★分科会・ワークショップ／27日 10:00～16:00

【参加費】6000円／1日のみ3000円（会員は4000円）
【問合せ先】NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会
TEL 03-3239-5330
NPO 法人女のスペース・ながおか
TEL&FAX 0258-38-0456

県外の情報

日本女性会議2007 ひろしま「一人ひとり 響きあって いま そして未来へ」

今年は、10月19日（金）～20日（土）に広島市で開催されます。申込締切は7月31日（火）正午。詳細については、日本女性会議 2007 ひろしま実行委員会事務局（TEL&FAX：082-242-5646）、ホームページ <http://www.hiroshima2007.info/> にお問い合わせください。

平成19年度「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」におけるワークショップ募集

国立女性教育会館で8月31日～9月2日に開催される標記フォーラムでワークショップを開催する団体を募集します。詳細については、国立女性教育会館（TEL：0493-62-6711）、ホームページ <http://www.nwec.jp> にお問い合わせください。

フェスティバル報告書

昨年12月に開催した「にいがた女と男フェスティバル 2006」の報告書ができました。ワーク・ライフ・バランスをテーマにした講演会、女性団体等の主催によるワークショップなどフェスティバル当日の内容などが掲載されています。ご希望の方にはお分けすることができます（送料負担）。詳しくは財団事務局までお問合せの上、お申し込みください。

女性財団役員・委員

平成19年度は役員・委員等の改選期にあたります。任期は、平成19年4月1日～平成21年3月31日までです。また、事務局も新体制となりましたので、あわせてお知らせします。

理事：大島照美子・小熊博・朝倉安都子・池田弘・浦橋武・栗山靖子・木浦正幸・島崎敬子・清水久子・末武栄子・武田美紀・中野キシ子・中野進・西村幸子・橋本照子・堀内一恵・本多恵子・目黒哲也・松本健司（新潟県女性財団事務局長）

企画運営委員：天尾貴子・大橋恵理・小熊多津子・木村いほ子・黒鳥敦子・駒崎美恵子・櫻井友子・佐藤直子・山本博子・渡邊純子

事務局：松本健司（事務局長）・伊東美保子（業務課長代理）・小熊洋子（専門員）・渋井直美（囑託員）

事業コーディネーター：川端美智子（株式会社ライフキャリアデザイン・アソシエイツ代表取締役）

賛助会員の皆さんへ

女性財団をご支援くださりましてありがとうございます。皆様から納入していただいた平成18年度賛助会費は、自主財源の一部として事業費にあてさせていただきましたので、ご報告いたします。

平成18年度事業及び事業費内訳（単位：千円）

事業名	事業費	補助金等	自主財源
県補助事業			
女性団体交流ネットワーク化事業	659	659	
女性センター講座事業	3,355	2,980	375
保育ヘルパー活動支援事業	452	452	
女性財団自主活動事業			
機関紙等の発行、調査研究事業、にいがた女と男フェスティバル、賛助会員の集い、等	3,617		3,617
総事業費	8,083	4,091	3,992

賛助会員及び会費納入状況（金額単位：千円）

区分	平成17年度 計			平成18年度 計		
	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額
個人会員	318	393	789	292	359	719
団体会員	74	110	550	71	107	535
法人会員	21	21	420	22	22	440
計	413	524	1,759	385	488	1,694

編集・発行／財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニソンプラザ2階／新潟県女性センター

TEL 025-285-6610 FAX 025-285-6630

E-mail balansu@cocoa.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~balansu/>

携帯電話用のホームページは、上記アドレスの後に/i/をつけてください。